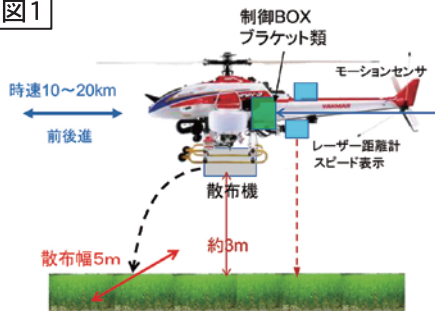


高品質・収入増・低コストへの挑戦!

ドローンで空撮したデータを分析してGPSラジヘリで可変追肥

..... ムラのある田んぼの地力に応じて細かく施肥

図1



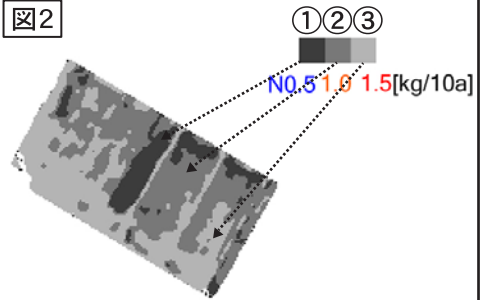
7月下旬にドローンで空撮し、8月7日に解析したデータでセンシングマップを作成。データをGPSに連動しラジヘリで地力に合わせて可変散布。(図1) 図2は、ドローンで解析した田圃の追肥マップ。①の薄いところは1.5kg、②は1.0kg、③は0.5kgと同じ田圃でも肥料の過不足が目瞭然。その地図に合わせて、図1のGPS対

生産者通信

NPO法人
米ニケーションセンター
定価 100円(送料込)

この追肥により、圃場の地力の差がなくなり、肥料の過不足を解消することができます。今回は追肥だけでしたが、開墾中ですがマップを作業機に読み込み元肥から均平な散布が可能となります。(続く)

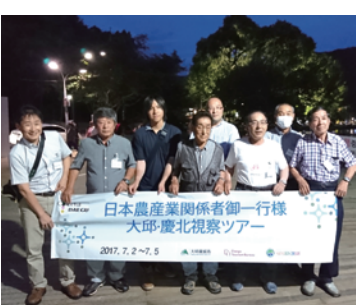
図2



韓国・大邱 研修報告 文:三師

今回の山田錦協議会視察は、岩淵会長を始め8名で韓国大邱市を視察しました。まず米農家のキム・マンジュン会長の有機栽培圃場を視察。有機は山の麓の一般米とは離れた場所での栽培され、タニシ除草が行われていました。韓国では、近年機能性米の需要が高まり、自身も7種類の機能性米を作付、他の生産者はキャンプや農業体験ができる施設を持っているとのことでした。トマト農家では、合計千八百

坪程のハウスをセンサーやモニターで制御したIT農業を行っており、2人で管理栽培を行っていました。尚、IT農業モデルは補助金が80%も出るとの事で驚きでした。ウリ農家も同様で、温度管理がスマホで出来るようになっており、60代の方がスマホ片手にハウスを管理していました。次は米加工工場を視察。HACCP認証の工場の様々なシリアルを製造していました。国の農業試験センターでは、国が農業機械



を保有し貸出しており、1台4千~1万2千円程度で借りることが出来ます。機械を保有しなくても農業ができる農家に優しい制度です。反日もなく、かなり友好的で充実した視察でした。(文:三師)

最先端の「農業の未来」が見える

第7回 農業ワールド

参加者募集!

残り5席!!

日時	2017年10月12日(木) ※日帰り
募集人数	20名(先着順)
費用	新潟県山田錦協議会会員 … 無料 非会員 … 3,000円
集合時間	午前7時集合(エコ・ライス新潟) ※マイクロバスで移動
会場	幕張メッセ(千葉市)

詳細は生産者通信8月号・またはエコ・ライス新潟までご連絡ください

締切 9/18 (月)迄

参加申込書 必ずお申込の上ご参加ください。応募者多数の場合は、お断りする場合がございますので、ご了承ください。

氏名 1) _____ 様

氏名 2) _____ 様